

## 1 学校の概要

&lt;児童生徒数・学級数(平成18年5月1日現在)&gt;

| 学 年        | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 障害児<br>学 級 | 計   | 教員数 |
|------------|----|----|----|----|----|----|------------|-----|-----|
| 学級数        | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  | 1  | 1          | 10  | 14  |
| 児童・<br>生徒数 | 50 | 57 | 43 | 33 | 40 | 39 | 3          | 265 |     |

## 2 2学期制実践研究の主テーマ及び副テーマ

基礎・基本のより確かな定着を目指して

～ 2学期制を生かした「学習指導と評価の充実」「長期休業の活用」 ～

## 3 テーマ設定の理由

長期的な指導計画を立てることができ、子どもの変容や成長ぶりを観ることが可能となり、指導と評価を丁寧に繰り返すことができる。また、長期の計画の中で不十分であったところは、ゆとりをもってさらに指導を重ね、基礎・基本のより確かな定着が図れる。学期の途中にある長期休業を活用することで、学びの連続性をもたせることが可能となると考えられる。

## 4 実践研究の内容（箇条書き）

- ・ 日常的な評価活動の充実（授業の「めあて」に沿った自己評価）
- ・ 子どもの姿がみえる個人面談の工夫（「けやきカード」の活用）
- ・ 長期休業中の取り組み（「チャレンジタイム」の新設・登校日の増）

## 5 成果と課題の把握の手立て

- ・ 児童アンケート・保護者アンケート・教職員アンケートによる意識調査
- ・ 児童の学習記録（学習ノート・ワークシート・振り返りカード）
- ・ 繰り返し学習の経過

## 6 実践研究の成果等の普及方策

- ・ 市校長会・市教頭会・教科等研究会での情報発信
- ・ 本校ホームページへのアップ

## 7 その他